

五個荘地区では、東近江市社会福祉協議会が策定する「東近江市地域福祉活動計画」に歩調を合わせ、五個荘地区の社会福祉協議会、まちづくり協議会、民生委員児童委員協議会、福祉関係団体や地域住民のみなさまとともに、第1次及び第2次「五個荘地区住民福祉活動推進計画」を策定してきました。

第2次計画ではその実施期間を平成29（2017）年度～令和3（2021）年度と定め、「だれもが人財みんなで支えあうまち五個荘」という理念の基、「人づくり」「場づくり」「しくみづくり」「つながりづくり」の4項目を目標にして活動を進めています。

令和2年（2020年）度から、さらに、五個荘地区の多様な住民活動や福祉活動の状況を共有するとともに、これらの取り組みをつなぎ、協働する態勢づくりと地区全体の潤いあるネットワークづくりを進めるために、「五個荘地区住民福祉会議」に発展的改編して活動を展開しています。

この冊子は、五個荘地区住民福祉会議が、五個荘地区の住民の皆様と各自治会の「財」（たから・尊さ）の取り組みを共有し、発信することを目的として「東近江市生活支援体制整備事業第二層協議体運営業務委託事業」を活用して作成しました。

令和2年度はコロナ禍により、中止を余儀なくされる事業や活動が少なくありませんでした。だからこそ、自治会で大切に取り組まれ、続けてきた集いや繋がる活動にスポットを当てて発信したい、発信すべきだという想いで、この冊子を編集しました。

これからも、五個荘地区住民福祉会議では、住民の皆様とともに、つながりを大切にした五個荘地区内の「財」を発信し続けてまいります。

第二次五個荘地区住民福祉活動計画

[スローガン]

だれもが人財 みんなで支えあうまち 五個荘

人づくり

- 助け上手な人、助けられ上手な人を増やしていこう。
- 病気や障がいのある人の理解を拡げよう。
- 六心の訓の普及・啓発をすすめよう。

場づくり

- 自治会館や社会福祉施設などを活用した居場所づくりを進めていこう。
- サロンやカフェなどの「つどいの場」を充実させよう。
- 世代間交流できる場や世代別に集まれる場を広げていこう。

しくみづくり

- 困りごとを抱えている人と、お手伝いできる人がつながるしくみをつくろう。
- みんなが得意を活かせる“人財バンク”的しくみをつくろう。
- 災害時に支援が必要な人を見守る防災・減災の取り組みを進めていこう。
- 命のバトンを活用した見守りを拡げていこう。

つながりづくり

- 住民と医療や福祉の専門職がつながる機会を増やしていこう。
- 地域の行事や「つどいの場がつながりの場」であることを啓発していこう。
- 中学生たちが地域でつながり、活躍できる機会をつくっていこう。
- 子育て世代を支える応援団をつくろう。
- 各自治会で気になる人のことを見守り、話し合える場をつくっていこう。